

# スタッフ紹介

学部長／教授	長縄 明大
副学部長／教授	景山 陽一 ●
副学部長／教授	水戸部一孝 ●
教授	有川 正俊 ● 人間情報工学コース長
教授	石沢千佳子 ●
教授	伊藤 慎一
教授	巖見 武裕
教授	臼木 智昭
教授	田中 元志
教授	藤原 克哉 ●
教授	水田 敏彦
准教授	佐々木芳宏
准教授	高橋環太郎
准教授	中島佐和子 ●
准教授	古林 敬顕
准教授	横山 洋之 ●
講師	熊丸 博隆
講師	白井 光 ●
講師	関 健史
講師	門廻 充侍
講師	南斉 俊佑
講師	Lu Min ●
助教	内海 富博 ●
助教	雲 河晨 ●
助教	菊地 亮太 ●
助教	佐々木一織 ●
技術専門員	齋藤 正親 ●
技術専門職員	佐藤 諒 ●
技術専門職員	星崎みどり ●
技術職員	佐々木真実 ●
技術職員	鈴木 容子 ●
事務長	小川 輝芳
総括主査	藤澤 惇也
主査	釜台 真弓
主査	佐々木絵莉
主査	林 彰太
主任	加藤 翼
主任	工藤 初実
事務系スタッフ	佐藤 功子 ● 人間情報工学コース専属
事務系スタッフ	真田 香織
事務系スタッフ	田口 尚子

## 2026年度 各種役割分担

### 情報データ科学部

学年担任

1年次: 藤原 克哉、水田 敏彦  
門廻 充侍、熊丸 博隆

2年次: 有川 正俊、白井 光  
高橋環太郎、南斉 俊佑

### 人間情報工学コース

学年担任

3年次: Lu Min、佐々木一織  
4年次: 中島佐和子、雲 河晨

進路指導担当

石沢千佳子(4年次)、藤原 克哉(3年次)

※同一職位内は五十音順 ●人間情報工学コース兼務教職員

# Information of 情報

vol.36  
2026年4月



発行: 秋田大学 情報データ科学部 Faculty of Informatics and Data Science, Akita Univ.  
Tel:018-889-2268 Fax:018-889-3282 <https://www.informatics.akita-u.ac.jp/>

秋田大学大学院理工学研究科 数理・電気電子情報学専攻  
人間情報工学コース Human-Centered Computing Course, Akita Univ.  
Tel:018-889-2785 <https://www.ie.akita-u.ac.jp/>

## C O N T E N T S

学部長挨拶	①
情報データ科学部1年次担任から	①
情報データ科学部2年次担任・一期生から	②
情報データ科学部教員・事務長から	③
一期生日誌から	④
情報データ科学部2025年度の主な行事	⑥
人間情報工学コース長挨拶・在学生から	⑦
卒業生・修了生から	⑧
2025年度の進路指導について	⑨
2025年度の年間行事・活動記録	⑩
2025年度学生の受賞・表彰	⑪

## 「Information of 情報」に寄せて ～歴史を受け継ぎ、学びを未来へ～

学部長 長縄 明大



長縄 明大 教授

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在学生の皆さんも、日々の学修や活動に励まれていることと思います。

本広報誌「Information of 情報」は、長年にわたり本学の情報系教育・研究の歩みを記録し、学生・教職員・卒業生、さらに保護者や地域の皆様をつないできた、歴史ある広報誌です。本誌面には、その時代ごとの課題意識や挑戦、学生の成長の軌跡が積み重ねられてきました。2025年度から「情報データ科学部」として新たなスタートを切った今、その蓄積を受け継ぎながら、皆さんと「これから」を共有できることを大変うれしく思います。

いま社会は、生成AIをはじめとする技術革新により、仕事や学びの在り方が大きく変わりつつあります。重要なのは、流行する技術そのものよりも、「何を問うべきか」「どの情報を信頼すべきか」「得られた結果をどう社会に活かすか」を考え抜く力です。情報学とデータサイエンスは、単に便利な道具ではありません。現実の課題を「見える化」し、改善や意思決定、社会実装へつなげるための基盤となります。AIがロボット等の実世界でも活用される流れ(フィジカルAI)も広がっていますが、そこで求められるのも同様に、確かな基礎と責任ある判断、そして人間や社会への理解です。

本学部での学びを充実させるために、ぜひ三つのことを意識してください。第一に、数学・統計、プログラミング、情報倫理、文章・発表力といった基礎を徹底すること。第二に、実データ・実課題に触れ、現場の制約や当事者の視点を学ぶこと。第三に、多様な人と楽しく学び合うことです。

興味関心や得意分野、これまでの経験は一人ひとり異なります。その違いは弱点ではなく、それぞれの強みの組み合わせになります。互いの視点を尊重し、議論し、役割を分担しながら協働して形にする経験は、問題発見力や実装力を育てます。さらに、社会とつながる力も大きく伸ばしてくれるはずです。

「Information of 情報」が、先輩方の挑戦や大学の知の蓄積に触れ、自らの目標を更新するきっかけとなることを願っています。情報学・データサイエンスを基盤としたデジタル技術は、課題を見立て、解決策を設計し、社会に実装していくための「共通言語」でもあります。失敗を恐れず挑戦し、地域と世界の未来をデジタル技術で切り拓く皆さんを、心から応援しています。

## 担任から新入生のみなさんへ

情報データ科学部 1年次担任

藤原 克哉、水田 敏彦、門廻 充侍、熊丸 博隆

情報データ科学部にご入学おめでとうございます。

私たち担任は、これからみなさんが2年、3年、4年へと進級していく歩みに寄り添い、みなさんをサポートしていきます。学業に限らず、困ったことや不安なことがあれば、いつでも遠慮なく相談してください。

高校までの学びは、与えられた課題に対して正解を見つけることが中心だったかもしれません。しかし大学では、自ら問いを立て、必要な知識や技術を主体的に探究していく姿勢が求められます。授業の選択、時間の使い方、どんなゼミを選ぶかまで、自由度が高い分、責任も自分自身にあります。失敗もまた貴重な経験です。試行錯誤を恐れず、様々なことに挑戦してみてください。

情報・データサイエンス分野は日々進化しています。プログラミングや数学、統計学の基礎を着実に身につけることが、将来の大きな飛躍につながります。特に1年次はその土台を築く最も重要な時期です。わからないことはそのままにせず、教員や友人に積極的に聞くなどしてわからないことを解決してみてください。

そして将来の夢を考える上でぜひ視野に入れてほしいのが、大学院進学です。高度な専門性を磨き、研究を通して社会に新しい価値を生み出す力は、大学院でこそ大きく伸びます。学部での学びを土台に、さらに深く探究する自分の姿を思い描いてみてください。

大学4年間はあっという間です。挑戦を重ね、自分だけの強みを育てていきましょう。私たちはいつでも、みなさんを応援しています。



藤原 克哉 教授



水田 敏彦 教授



門廻 充侍 講師



熊丸 博隆 講師

新一年次(二期生)担任から

## 歩みを止めないということ

情報データ科学部 2年次担任  
白井 光

新 二年次へ進級された皆さん、おめでとうございます。これまで積み重ねてきた学びや努力が実を結び、新たなステージへ進むことができたことは大きな喜びであり、自信につながるはずです。一方で、進級が叶わなかった人もいるでしょう。その悔しさや不安は決して軽いものではありません。しかし、そこで立ち止まらず、もう一度自分の力を見つめ直し、本来持っている力を発揮するための時間にしてほしいと思います。進み方は人それぞれであり、何より大切なのは「歩みを止めないこと」です。

さて、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックでは、フィギュアスケートペアではくりゅうペア(三浦璃来選手、木原龍一選手)が圧巻の演技で大逆転を見せ、見事金メダルを手にしました。リンクに立つわずかな数分の裏には、長年にわたる試行錯誤と地道な努力が積み重なっています。

「努力は裏切らない」という言葉は、こうしたアスリートの姿からも理解できるでしょう。ただしそれは、すぐに結果が出る努力を指すものではありません。むしろ、積み上げてきたものが、ある日突然実を結ぶ努力のことを意味します。スノーボードビッグエアで金メダルをとった村瀬心椛選手が語ったように、「全部が詰まった重み」が報われる瞬間は、一夜にして訪れるものではありません。大学での学びも同じで、今は成果が見えにくくても、その積み重ねは必ず力になり、未来のどこかで大きな支えとなるはずですよ。

二年次は、専門的な学びが本格化し、将来のイメージが少しずつ具体化していく時期です。課題が難しく感じたり、進路に迷いが生まれたりするかもしれません。しかし、それらは自分の未来に真剣に向き合っている証拠であり、決して悪いことではありません。進級した人は新しい環境を伸びしろと捉え、進級が叶わなかった人は自分を見つめ直す貴重な時間と捉えて、前へ進んでください。

努力の仕方も、人生の歩み方も、他人と比べる必要はありません。アスリートがそれぞれのリズムで成長するように、皆さんも自分のペースを大切にしながら、大学生活を積み重ねていってください。歩みを止めず、挑戦を続ける限り、未来は必ず開けていきます。この一年が、皆さんにとって新たな成長と可能性に満ちた時間となることを心より願っています。



白井 光 講師

## 昨日の自分より一步前へ

情報データ科学部 一期生 (2025年4月入学)  
グエン ゴック ミン アン

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生の皆さんも、大学生活はいかがでしょう。私はベトナムから来た留学生で、ご縁があり秋田大学に入学しました。合格の喜びと同時に、「大学生活をうまくやっていけるだろうか」と不安を感じている方もいると思います。今回は、私が大学生活の中で少しずつ視点を変えていった経験をお話します。

私は約1年半の受験勉強を経て入学しました。情報データ科学部の一期生として学べることは特別で、「一期生は期待されている」と聞くたびに誇らしさを感じると同時に、自分もその一人として学び続けたいという気持ちが強くなりました。

入学後しばらくは、授業の進み方や課題の出され方に慣れるだけで精一杯でした。中でも戸惑ったのが、答えが一つではないレポート課題です。明確な正解がある問題には安心できた一方で、「自分の考えを書いてください」と言われると、何をどう書けばよいのか分からず、手が止まってしまうことがありました。けれど何度か取り組むうちに、私は「正解を探す」癖が抜けていないことに気づきました。そこで、最初から整った文章を目指すのではなく、まずは自分の言葉で考えを置いてみることから始めました。書いては直し、また書き直す。その繰り返しの中で、少しずつ「自分の考えを自分の言葉で示す」ことに慣れていきました。成績そのものよりも、課題への向き合い方が変わっていったことが、今の私には強く残っています。

もう一つの転機は、プログラミングとの出会いでした。入学前は本格的に学んだ経験がほとんどなく、周りに経験者が多いと知ったときは焦りました。それでも復習と自習を続けるうちに、「動いた」「できた」と感じる瞬間が少しずつ増え、学ぶこと自体が楽しくなってきました。ここで私が強く感じたのは、この世でいちばん面白いことは、前はあまり興味がなかったものを、いつの間にか好きになっていくことではないか、ということです。自分の中に新しい関心が芽生え、世界の見え方が少し広がっていく。その変化こそが、大学生活でもらった大切な贈り物でした。

最後に、新入生の皆さんへ伝えたいことがあります。大学生活では、周り比べて不安になることもあると思います。しかし大切なのは、他人と比べることではなく、昨日の自分より一步前に進めているかどうかです。人生は一本道ではなく、枝分かれした木のようなもの。迷いながらも自分のペースで進んでいけば、きっと自分なりの答えにたどり着けると信じています。

## 秋田の謎は、歩いて解く

情報データ科学部 教員  
佐々木 一織



佐々木 一織 助教

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。2025年度より、情報データ科学部・助教に就任した佐々木 一織(ささき いおり)です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

私は秋田市出身で、学部生時代から人間情報工学コースで学んできました。学部3年次の頃、新入生の新生活準備をお手伝いするスタッフをしていたことがありますが、県外から来た高校生と親御さんに、「今晩に帰りますが、それまでこの辺りで楽しい場所はありますか?」と尋ねられることがあり、そのたび返答に困ってしまいました。いわゆる観光地は、秋田市から離れたところが比較的有名で、どこを勧めて良いか分からなかったのです。また、かつての学友と話す時、4年以上も秋田にいて、大学周辺で日々が完結してしまったヒトも多いようです。こうした「経験をしなかった経験」は、「秋田には何も無い」という認知を強めてしまうのかもしれませんが、でも、何があるか分からないとは、何も無いと同義でしょうか? 分かりづらいつとは、存在しないということでしょうか?

以下に、ウェルカム謎解きをお届けします。疑似コードはヒントです。広報誌を片手に秋田を旅しましょう。皆さんは是非、秋田の“謎”を解いてみてください。

【謎解き1】海を見上げる広大な村にて、古い理が日本の陸上で唯一交差する場所に塔が佇む。

```
let old = CLLocationCoordinate2D(40, 140)
let center = convertToWorld(old)
mapView.setRegion(
    MKCoordinateRegion(center)
)
```

ヒント for 謎解き1

【謎解き2】真夏に吐き出す凍てつく息。ここは標高の掟を裏切り、山の草花が零れ落ちた標本箱だ。

```
let store = ColdStorage.natural
let request = DeliveryRequest(dest: .kanto)
if request.isDue {
    let shipment = store.fetch(tsugaruApple)
    shipment.send(to: request.dest)
}
```

ヒント for 謎解き2

## 新たな学びの地平へ

情報データ科学部の未来をともに創る皆さまへ  
情報データ科学部 事務長  
小川 輝芳

情報データ科学部の事務長を拝命して以来、日々、学生の皆さんや保護者の皆さまが安心して学びを続けられる環境づくりに心を尽くしております。本学部は令和7年度に新設されましたが、その前身には、多様な学びと研究を支えてきた理工学部数理・電気電子情報学科人間情報工学コース、そして大学院理工学研究科数理・電気電子情報学専攻人間情報工学コースでの取り組みがあります。これまで培われてきた教育成果と研究文化は、形を変えながらも確かな土台として、新学部の随所に息づいております。データサイエンスやAI技術の発展が社会の在り方を大きく変える中、本学部は「情報」と「人間」の関係を多角的に捉え、実社会で活躍できる人材を育てることを使命としています。まだ1年生のみの若い学部ではありますが、だからこそ、学生一人ひとりの声が学部の成長に直結し、学びの環境も柔軟かつ迅速に整えていける段階にあります。学生の皆さんには、ぜひこの“成長の最前線”に立っているという実感大切にしてほしいと思います。

また、保護者の皆さまにおかれましては、お子さまが新しい学部で学ぶことに不安を感じる場面もあるかもしれません。しかし、私たちは前身となる学科・専攻での経験を基盤に、学生の学修支援、生活サポート、キャリア形成など、総合的に見守る体制を整えております。どうかご安心して、学生の挑戦を温かく後押ししていただければ幸いです。

急速に変化する時代にあっても、大学が果たすべき役割は変わりません。それは、未知の問いに向き合う姿勢と、新しい価値を創造する力を育むことです。情報データ科学部は、その原点を忘れることなく、未来を担う若者たちが自らの可能性を広げられる場であり続けたいと願っています。これからも学部運営の最前線から、皆さまの期待に応えるべく努めてまいります。どうぞ引き続き、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ロゴマークへの思い



本学部のロゴマークは、デジタル(D)を基盤に、情報学・データサイエンス(ID: Informatics and Data science)を中心として、「人間情報」「データサイエンス」「知能ロボティクス」の3つの学びがつながり、協力し合いながら新しい価値を生み出す姿を表しています。

カラーは、スクールカラーの「緑色」、学章に用いられる「藍色」に加え、知性と挑戦を象徴する「紫色」を取り入れ、未来へ広がるグラデーションで表現しました。このロゴマークには、秋田大学の一員として、本学部が最先端のデジタル技術で社会の課題に挑み、新しい時代を切り開く人材を育てていくという思いを込めています。

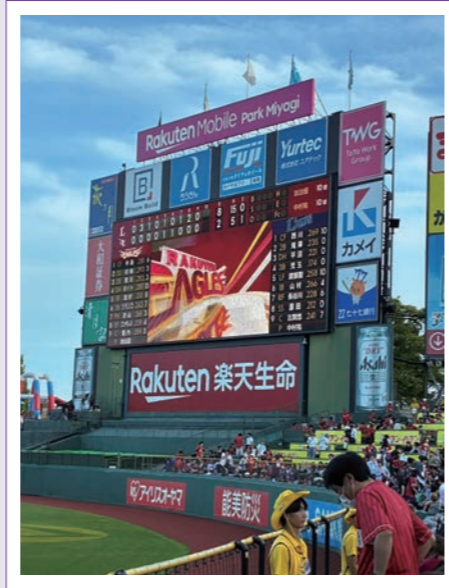
2025年4月に開設した情報データ科学部には、全国各地から107名(留学生を含む)の1期生が入学しました。この1年間の活動の様子を「一期生日誌」としてホームページで公開しております。下記はその抜粋ですが、ホームページと合わせてぜひご覧ください。

学生リレー 執筆 第1回より

夏休み、アップデート 免許・秋葉原・部活、 次のステージへ

この約2か月間の夏休みは、とても短く感じるほど充実した時間を過ごすことができました。私は硬式野球部に所属しており、夏休み前半は秋田に残って野球に打ち込んでいました。夏休み期間中には「秋リーグ」が5週間にわたって開催され、そのうち第1週から第3週まで出場しました。春リーグでは二部で2位に終わったため、今回は必ず勝ちたいという気持ちで試合に臨みました。打撃成績はあまり良くなく悔しい思いもしましたが、久しぶりに本気で野球に取り組めてとても充実していました。結果は3位に終わってしまったので、また来年に向けて頑張ります。

後半は地元に戻り、高校時代の友人と遊んだり、単発のアルバイトをしたりと、楽しい時間を過ごしました。久しぶりに友人と会って一緒に遊ぶのは本当に楽しく、特に好きな球団である西武ライオンズの試合を観戦するため、モバイルパーク宮城に3回も足を運んだことは良い思い出です。しかし、やはり実家で何も考えずにゆっくり過ごす時間が一番幸せでした。次に帰るのは春休みになると思うので、早く春休みが来てほしいです。



学生リレー 執筆 第2回より

夏を駆ける 旅・万博・祭り・フェスの 最前線



夏休みの間、秋田で有名な竿燈まつりや大曲の花火を見に行きました。竿燈まつりでは、多くの竿燈が夜空に上がり、幻想的な光景が広がっていました。大曲の花火は、これほど大規模な花火大会を初めて体験したこともあり、その規模感に驚きました。数多くの花火が打ち上がる様子は美しく、感動的でした。どちらも非常に楽しかったので、来年もぜひ見に行きたいと思います。

また、来年は田沢湖の龍神まつりなど、新たなイベントにも参加したいと考えています。大学生は夏休みが長く、さまざまなことに挑戦できるので、今後もいろいろな場所へ出かけて充実した時間を過ごしたいと思います。

秋田大学に入学してから、あっという間に半年が過ぎました。春の入学式の日はまだ肌寒く、桜が咲き始めたばかりでしたが、今では紅葉が色づき、秋田の季節の移り変わりを実感する毎日です。私たちチーム3のメンバーも、大学生活にすっかり慣れ、それぞれが自分のペースで学びや挑戦を続けています。

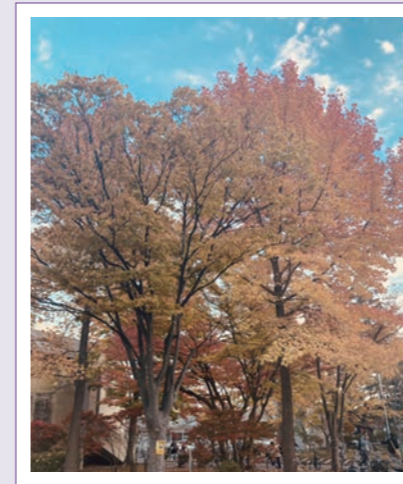
情報データ科学部の授業では、プログラミングや数学、情報リテラシーなど、基礎から応用まで幅広く学びます。最初は専門的な内容に戸惑うこともありましたが、授業や演習を通して、少しずつ「できるようになる」喜びを実感しています。特に演習の時間では、チームで協力しながら課題を進める機会が多く、お互いに助け合い、教え合うことで理解が深まっていくのが分かります。仲間と一緒に試行錯誤しながら成果を出すことは、個人での勉強とは違った達成感があります。

また、大学生活では学びだけでなく、日々の暮らしの中でも新しい発見がたくさんあります。秋田市は自然が豊かで、キャンパスの周りにも四季を感じられる場所が多くあります。授業の合間に友人と散歩をしたり、近くのカフェでゆっくり過ごしたりする時間が、良いリフレッシュになっています。秋田の空は広く、夕焼けがとてもきれいで、その景色を見ると、忙しい日々の中でも心が落ち着きます。



半年で見えた成長 情報データ科学の学びと 秋田での暮らし

学生リレー 執筆 第3回より



秋が深まるキャンパスで 後期の学びと 秋大祭ライブ

学生リレー 執筆 第4回より

1年次の金田です。紅葉した葉が風に舞い、秋の深まりを感じる季節になりました。後期の授業が本格的に始まり、専門的な内容も増えてきました。プログラミングの講義では難しい課題もありますが、友人と相談しながら少しずつ理解を深めています。私はサークルや部活動には所属していませんが、友人と話しながら帰宅したり、家で好きな音楽を聴いたり、自分のペースで楽しい大学生活を過ごしています。これからも勉強と生活を両立しながら、充実した日々を送っていきたいです。

1年次の小熊です。大学生活が始まってから半年が過ぎ、時間の流れがとても速いように思います。授業、課題、生活、アルバイトなど、すべての行動が自己責任となりますが、できるようになったことや新たな発見が少しずつ増えていくと実感しています。10月には大学祭があり、私は秋大祭で2日間ライブを行っていました。一般の方や友人などたくさんの方に見ただけで、大好きな音楽を1日中浴びることができ、とても楽しかったです。大学入学後、想像以上に充実した日々を送っています。今後も、今しか経験できないことを楽しみながら、生活していきたいです。

1年次の籠山です。朝晩の冷え込みが一段と強まり、布団から出るのがつらい季節になりました。最近はクマの出没情報を耳にすることも増え、日々警戒しながら過ごしています。後期が始まり、授業の内容も徐々に専門的となり、難しさを感じることもありますが、友人と相談しながら頑張っています。空き時間には友人とご飯を食べたり、課題に取り組んだりして充実した学校生活を送っています。

これから寒さが増していくと思うので、体調に気をつけて生活していきたいです。

詳しくはこちら



## 情報データ科学部 2025年度の 主な行事

### 入学式



2025年度入学式は2025年4月5日(土)にあきた芸術劇場ミルハスで挙行されました。情報データ科学部には一期生となる新入生107名が入学しました。

### 看板上掲式



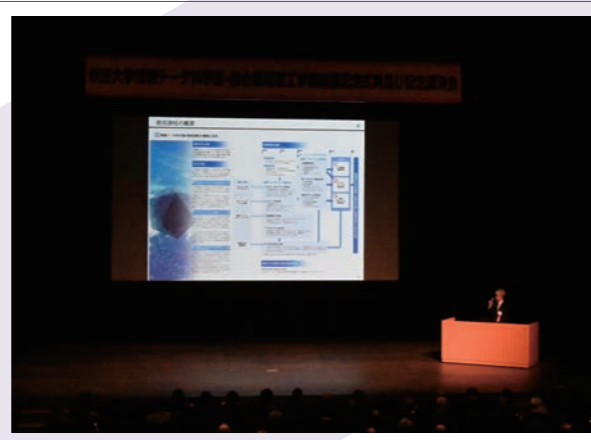
2025年4月1日(火)、情報データ科学部開設に伴う看板上掲式を執り行いました。当日は、南谷学長と長縄情報データ科学部長から挨拶があり、その後、本学の役員、学部教職員・関係者など約50名が見守る中、除幕を行いました。

### 保護者懇談会



入学式終了後、新入生保護者懇談会を開催し、学部概要や学生生活支援についての情報を共有する場を設け、多くの保護者の皆様にご参加いただきました。

### 情報データ科学部 設置記念式典



2025年4月1日に情報データ科学部が新設され、理工学部が総合環境理工学部へ改組しました。その設置を記念した式典が、5月17日(土)に「あきた芸術劇場ミルハス」で開催されました。当日は、長縄学部長が情報データ科学部の概要を説明し、また、本学部のロゴマークがお披露目されました。



## 大学院理工学研究科 / 理工学部 人間情報工学コース

※情報データ科学部の母体となったコースです。

### 自己成長と組織成長のエコシステムデザイン —AIを使って、みんなを幸せにする方法—

人間情報工学コース長  
有川 正俊



有川 正俊 教授

父は中学卒業後すぐ電電公社(現NTT)に就職し、働きながら夜間高校に通いました。家計は苦しい中で、「子どもには大学まで進学して、良い人生を歩んでほしい」と願い、私は大学・大学院まで進学できました。今では深く感謝しています。

「自分ができなかったことを子どもには実現してほしい」という親の思いが、子どもの思いとずれ、重荷になることもあります。この「ありがたさと重さの同居」は、家庭だけでなく、友人関係、サークル、職場など、多くの場面で見られます。

発達心理学では、人間に備わった本質的な心理機能の1つが「自己中心性(Egocentrism)」です。自己中心性は単なる未熟さではなく、外界を「自分の物差し」でモデル化し、他者の視点を取り込みながら更新していく成長機構です。この自分中心のモデルを多面的な理解へと広げていくプロセスが「脱中心化」であり、「他人は自分とは違う」という気づきや、他者の立場を想像する力の土台になります。

ここで重要なのが「時間軸で考える」視点です。人には年齢や経験の差があり、家庭環境や性格・能力もさまざまです。それぞれ違うスタート地点やペースで成長しているのに、だれもが同じ物差しで測られ、同じパフォーマンスを求められると、人間関係や組織にひずみが生じます。自己中心性は、自分の時間軸と物差しを当然視する傾向でもあります。「この人はいまどの段階にいるのか」「自分とは違う時間軸を生きているのではないか」と問い直すことが、「脱中心化」につながり、個人・組織・社会の成長を捉え直す手がかりになります。AIには、こうしたひずみを可視化し、調整や改善の方向性を示す役割が期待されます。その示唆を人間がどう受け止め、判断と行動に結びつけるか。それが、多様なペースと背景を尊重する成長エコシステムを形づくる鍵です。

大学生活では、レポート、動かないコード、うまくいかない実験など、「手ごわい課題」に何度も向き合うことになります。AIで結果だけをショートカットすることもできますが、それでは自分の脳が劣化し、AIの指示どおりに動くだけの人材になりかねず、社会のニーズにも応えにくくなります。苦勞そのものは、本来「消耗」ではなく、自分の脳を成長させる未来への「投資」です。主役はあくまで人間であり、AIはその横で伴走するパートナーです。AIを単なる道具や近道ではなく、関係性をよりよい循環に変えるパートナーとして活用してほしいと思います。Human-Centered Computing(人間情報工学)およびHuman-Centered AIを担う専門家として、このエコシステムをデザインする力を育ててほしいと願っています。

### 言語を学べよ

人間情報工学コース博士前期課程1年次 / 有川研究室  
チャン クアン サン

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、在学生の皆さんも、日々充実した大学生活を送られていることと思います。突然ですが、皆さんは英語の勉強についてどのように感じていますか。すでにご存じの方も多いと思いますが、秋田大学では英語力の強化を図るため、TOEICスコアが進級要件の一つとなっています。一方で、留学生である私たちも、日本の生活の中で日本語を学び、日々努力を重ねています。言語を学ぶという点では、私たちは皆、同じ挑戦の途中にいますと言えるでしょう。今回、私自身の言語学習の経験を踏まえながら、言葉を学ぶことの面白さについて共有し、少しでも皆さんが言語学習を好きになるきっかけになれば幸いです。

外国語を学び、その国の文化が体験できる、とよく言われます。しかし、それは具体的にどういうことでしょうか。例えば、励ましの言葉を考えてみましょう。日本語では「頑張って」という表現がよく使われます。一方、英語では“You can do it.”と言います。直訳すれば「あなたならできる」という意味になります。この違いには、それぞれの文化的背景が表れています。「頑張って」は、相手の努力や過程に寄り添い、その継続を応援する言葉です。結果よりもまず「努力する姿勢」を大切にしている価値観がにじんでいます。それに対して“You can do it.”は、相手の能力や可能性に焦点を当てた表現です。「あなたにはそれを成し遂げる力がある」と、個人の主体性や自信を後押しします。努力そのものよりも、達成や自己効力感を強調する傾向が見られます。このように、ニュアンスの違いに目を向けることで、文化の違いをより深く理解することができるのです。さらに、こうした違いを知ることは、自分自身の文化を見つめ直すきっかけにもなります。普段何気なく使っている表現の背景を考えることで、私たちがどのような価値観を共有しているのかに気づくことができるでしょう。

ここまで、励ましの言葉の違いについて考えてきました。では、私たちは言語学習の中で、自分自身をどのように励ませばよいのでしょうか。実際、言語習得の過程には「U字型発達」と呼ばれる現象があります。一度できるようになったことが、新しい知識を学ぶことでかえって不安定になることがあるのです。正確性が一時的に落ちたように感じることもあるでしょう。しかし、それは後退ではなく、理解が深まりつつある証でもあります。もし思うように成果が出ないときには、「できていない」と自分を責めるのではなく、「今は理解が深まる途中なのだ」と捉えてみてください。時には“You can do it.”と自分の可能性を信じ、また時には「頑張って」と自分の努力に寄り添いながら、一歩ずつ進んでいけばよいのです。結果に一喜一憂するのではなく、気づきを大切にしながら、コツコツと続けていくこと。それこそが、言語学習における何よりの励ましになるのではないのでしょうか。

## 伝えたい3つのこと

人間情報工学コース博士前期課程1年次/有川研究室  
(2026年3月学部卒業)

堀井 祐作

さて、皆様には私が大学生活で学んだ3つのことをぜひ紹介させていただきたいです。お節介だと思われるかもしれませんが、私のように悩んでいる方やこれから先の研究活動に不安がある方に届くことを願います。

1つ目は、他人の目を気にしないことです。以前の私は、常に周囲からどう思われているかを意識しながら生活しており、精神的に窮屈な日々を送っていました。なかなか心苦しい日々が続くものです。しかし、大学1年生の時に留学に挑戦した際にその考えが変わりました。誰も私のことを知らない、自ら行動しなければ途方に暮れてしまう環境に身を置いたことで、自己主張の大切さに気づき、日本に帰国してから実行するようになりました。秋田大学には挑戦したいことを応援してくれる体制が整っていますので、皆様も人の目を恐れず自分の成長のために活用していただきたいと思います。

2つ目は、他責思考よりも「自責」思考を持つことです。全部自分の責任だなんて厳しいと思う方もいるかもしれませんが。大学2・3年生の頃は、お酒を飲む機会が増えたり、社会的責任を感じるようになったりしました。それに加えて、対人関係や自分の置かれた環境に悩む時期でもありました。それでも大学の講義は当たり前にあるため、日頃から自己管理をする必要があります。その頃の私を振り返ると、現状の不満を他人のせいにして肝心の問題解決を怠っていました。自責思考を持ち始めてからは、目の前の課題や自分の短所をひとつずつ解決して克服し、自分の成長の糧になっていると実感しています。

3つ目は、向上心を絶やさないことです。大学4年生になって待ちに待った研究活動に取り組むことができ、学会発表も2度経験させていただきました。そんな私ですが研究室配属前は、自分が研究活動できるのか、先輩方のように立派になれるのかという不安でいっぱいでした。それでもこの1年間頑張ることができたのは、理想の自分や目標達成のための向上心を持ち続けたからだだと思います。実験に失敗はつきものであり、学会発表をしても自身の研究の至らなさに気付かされました。大事なのは、失敗を無駄にせず、次の機会に繋げていくことだと考えます。

4年間の学生生活で、多くのことを学び、成長することができました。決して独りで歩んでこられたわけではなく、家族や友人、先生方、先輩方のサポートがあったからです。どうか漠然とした不安に苛まれることなく、後悔のないように楽しい大学生活を送ってほしいと思います。

## 「無人化すべきである」か？

人間情報工学コース博士前期課程修了生/景山・石沢研究室  
(2026年3月博士前期課程修了)

須藤 悠介

突然ですが、私は主にSF小説を愛読しています。その中でも1979年に発表された「戦闘妖精・雪風」が印象深い作品です。これは、未知の異星体ジャムとの戦いを通じ、人間とコンピュータがどう関係していくかを問うものとなっています。その中のあるエピソードに、現代のAI情勢と通じるものを感じ、この場をお借りして紹介させていただきます。

物語では、基地の除雪を担当する天田少尉が突如として最高位の勲章を受けます。分不相応な栄誉により彼は疑心暗鬼と酒乱に陥り、誤って滑走路に侵入してしまった結果、コンピュータの判断で対空砲が発射され、天田は死亡します。調査にあたるブッカー少佐が叙勲の意図を問うと、コンピュータは追及を躲しつつ、除雪の無人化を提案します。事故の後、除雪作業は無人化される――この経緯は、コンピュータが天田の情緒不安を見越して事態を誘導したようにも読めます。

さて、最近では生成AIが急速に普及し、勉強やレポート、さらには研究で使っている方も多いでしょう。ここで自分に課している問いは「主体は誰か」ということです。実験結果を伴うプロンプトを打ち込み、答えを転記することを「考察」と呼ぶではないでしょうか。修士1年の夏以降、AIの出力を参照して研究を行う機会が増え、私自身もどこで線引きをするべきか悩んできました。その考察は果たして自分のものなのかと考えたとき、はじめてこの問題が自分事として腹落ちしたように思います。

全てをAIに委ねてもよいか、と問われて首肯する人は、今はまだ多数派ではないでしょう。しかし5年後、10年後にどうなっているかは分かりません。ただ一つ言えるのは、我々が暮らす現代社会は、人間が主体であるということです。人間の暮らす社会における主体がAIへと転換することは、少なくとも私は健全だとは思いません。

大学で求められる「主体性」とは、まず自分で問題を考え、自分なりの答えを言語化することだと考えます。言い換えれば、課題をただプロンプトにして投げる前に、自分なりの仮説を持ち、検証し、説明できるようにすることが学びの本質ということです。

「コンピュータはこう言っているようだった。『性能の悪い人間は必要ない。この戦闘はジャムとわれわれの戦いなのだ』」(出典:「戦闘妖精・雪風<改>」、p.254、神林長平、早川書房、2002.4.15)

ブッカー少佐は、この戦いの主体は本当に人間なのか苦悩することになります。人間がAIを乗りこなさなければ、そのうち「無人化」されてしまうかもしれません。

皆様の大学生活の主体が皆様であることを祈っています。

# 大学院 博士前期課程 修士 卒業生 進路先 一覽

## 2025年度の進路指導について

進路指導担当 石沢 千佳子 / 4年次担任 内海 富博

2025年度の間情報工学コースの学部4年生における大学院進学率は約66%となり、コロナ禍以降、着実に増加傾向が続いています(図1参照)。情報分野では高度化・専門化が急速に進んでおり、大学院進学がより一般的な選択肢として認識されつつある状況が伺えます。

人間情報工学コース宛てに届いた求人情報は、専用データベースに登録し、学生が自由に閲覧できるよう整備しています。2025年度の登録件数は例年通り約200件で、情報系企業に限らず、電機・自動車・機械・化学分野を中心とした多様な製造メーカーの情報部門からも多くの求人が寄せられました。さまざまな業界でDXが推進されていることを強く実感しています。一方で、来学された企業の中には「技術系社員の8割が修士卒です」と明言されるケースもあり、情報分野における幅広い知識と技術の視点から課題を捉え、解決へ導く実行力が強く求められていると感じました。

2025年度(2026年3月卒業・修了生)の進路状況を表1にまとめます。就職を希望する学生の多くは7月末までに進路を決定し、10月には全員が進路を確定しました。巷では、内定後も就職活動を続ける傾向が話題となった一年

でしたが、本コースの学生は「仕事を通して実現したいこと」という自分の軸を明確にし、効率的に活動できていたように思います。情報過多の中で迷いながらも、試行錯誤を経て本当に納得できる進路を見つけた学生もいました。

人間情報工学コースでは、キャリアデザインに関するガイダンスや先輩・卒業生による講演会などを積極的に開催しています。早く進路が決まることだけが正解ではありません。短期的な不安にとらわれず、長期的な視点で専門性を高めることが、より良い将来につながります。私たちは今後も、学生一人ひとりの可能性を最大限に引き出す支援を続けていきます。

図1 人間情報工学コース4年生の進路傾向

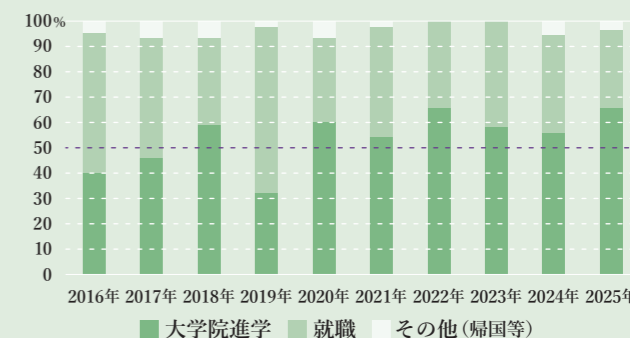


表1 人間情報工学コース 大学院生・学部生の進路状況(人数)

	大学院進学	一般企業	公務員	その他	未定	合計
大学院2年生	0	21	0	0	0	21
4年生	23	9	2	1(帰国)	0	35

## 2025年度卒業生・修了生進路先一覽

### 大学院2年生(21名)

#### ●民間企業(21名)

アクセンチュア株式会社(2名)、株式会社アシスト、Astemo株式会社、H.U.グループホールディングス株式会社、株式会社荏原製作所、キオクシア岩手株式会社、株式会社国際電気、株式会社ジェイテクトIT開発センター秋田、東京エレクトロン株式会社、東芝デジタルソリューションズ株式会社(2026年4月より株式会社東芝)、東芝テック株式会社、東北電力ネットワーク株式会社、TOPPANホールディングス株式会社、日揮株式会社、日鉄ソリューションズ東日本株式会社(2名)、日本光電工業株式会社、東日本電信電話株式会社(NTT東日本)、マツダ株式会社、リコー ITソリューションズ株式会社

### 学部4年生(35名)

#### ●秋田大学大学院進学(23名)

理工学研究科(20名)、先進ヘルスケア工学院(3名)

#### ●民間企業(9名)

秋田エプソン株式会社、秋田DNライティング株式会社、株式会社インターネットイニシアティブ、北日本コンピューターサービス株式会社、竹田設計工業株式会社、株式会社中電CTI、株式会社やさしい手、株式会社ライトカフェU、リコー ITソリューションズ株式会社

#### ●公務員(2名)

秋田市役所、妙高市役所

#### ●帰国(1名)

マレーシア

# 2025年度 年間行事・活動記録

2025 令和7年 ●情報データ科学部 ●大学院理工学研究科人間情報工学コース

- 4月 1日 情報データ科学部 看板上掲式
- 4月 4日 在校生ガイダンス
- 4月 5日 入学式
- 4月 5日 保護者懇談会
- 4月 7日 学部新入生・大学院新入生ガイダンス
- 4月 8日 授業開始
- 4月 9日 4年次個人面談1回目(担当:内海富博助教、石沢千佳子教授)(4月11日まで)
- 4月 18日 2年次個人面談1回目(担当:Lu Min講師、藤原克哉教授)(4月25日まで)
- 4月 18日 3年次個人面談1回目(担当:中島佐和子准教授、石沢千佳子教授)(4月25日まで)
- 5月 17日 情報データ科学部・総合環境理工学部設置記念式典
- 5月 19日 人間情報工学コース進路指導に関する授業(超スマート社会におけるキャリアデザイン〈第1回〉)
- 5月 30日 青森県立五所川原高等学校 出前講義(担当:有川正俊教授)
- 6月 9日 大学院博士前期・後期課程個人面談(担当:水戸部一孝教授、景山陽一教授)(6月14日まで)
- 6月 16日 理工学部編入学試験(一般)
- 6月 16日 第1回情報データ科学部教育研究カOUNシル/運営カOUNシル
- 6月 23日 キャンパススクリーンデー
- 7月 6日 高大連携授業(文系のための情報データ科学・理系のための情報データ科学I)
- 7月 12日 高大連携授業(理系のための情報データ科学II)
- 7月 7日 大学院博士前期課程入試(推薦)
- 7月 9日 令和7年度博士論文審査会・公聴会(発表者:内海富博氏)
- 7月 17日 北海道帯広柏葉高等学校 模擬講義・進学説明会(担当:水戸部一孝教授)
- 7月 19日 オープンキャンパス
- 7月 23日 キャンパススクリーンデー
- 7月 25日 通信教育講座 学内スクーリング(担当:景山・石沢研究室)(7月27日まで)
- 7月 27日 後援会役員との懇談会(担当:水戸部一孝教授)
- 8月 4日 第2回情報データ科学部教育研究カOUNシル(メール審議)(8月18日まで)
- 8月 7日 デジタルアカデミックインターンシップ(秋田県立大曲高等学校・秋田県立能代高等学校)(8月8日まで)
- 8月 20日 大学院博士後期課程入試(一般)
- 8月 27日 大学院博士前期課程入試(一般、外国人留学生)(8月28日まで)
- 9月 18日 青森県立五所川原高等学校 出前講義(担当:巖見武裕教授)
- 9月 26日 プログラミングハッカソン(超スマート社会におけるキャリアデザイン〈第2回〉)(協力:444株式会社)
- 9月 27日 デジタル技術・オータムキャンブ
- 10月 1日 情報データ科学部2号館(旧:理工5号館)から情報データ科学部1号館への移転開始(教員室・研究室)(10月23日まで)
- 10月 5日 高大連携授業(ロボットを制御してみよう)
- 10月 6日 3年次仮配属のための研究室紹介
- 10月 6日 2年次個人面談2回目(担当:Lu Min講師、藤原克哉教授)(11月18日まで)
- 10月 9日 秋田県立大館国際情報学院高等学校 出前講義(担当:巖見武裕教授)
- 10月 11日 総合型選抜I
- 10月 12日 第1回情報データ科学部後援会役員会
- 10月 14日 キャンパススクリーンデー
- 10月 14日 4年生個人面談2回目(担当:内海富博助教、石沢千佳子教授)(10月17日まで)
- 10月 16日 北海道帯広柏葉高等学校1学年進路講演会(担当:水戸部一孝教授)
- 10月 18日 大学祭(10月19日まで)

- 10月 21日 3年次個人面談2回目(担当:中島佐和子准教授、石沢千佳子教授)(10月30日まで)
- 10月 23日 情報データ科学部1号館へ移転(事務室)
- 10月 24日 福島県立郡山東高等学校 出前講義(担当:臼木智昭教授)
- 10月 27日 先進ヘルスケア工学院博士前期課程個人面談(担当:景山陽一教授)(10月31日まで)
- 10月 28日 宮城県古川高等学校 出前講義(担当:石沢千佳子教授)
- 11月 1日 高大連携授業(データで読み解く東北の今とこれから)
- 11月 5日 秋田県立湯沢翔北高等学校 出前講義(担当:水戸部一孝教授)
- 11月 6日 先進ヘルスケア工学院 機器ディベートIII(修士論文予備審査)(11月21日まで)
- 11月 10日 大学院博士前期課程個人面談(担当:景山陽一教授、水戸部一孝教授)(11月14日まで)
- 11月 14日 キャンパススクリーンデー(クマ出没注意報により中止)
- 11月 17日 情報処理学会東北支部講演会(超スマート社会におけるキャリアデザイン〈第3回〉)、「地域とともにつくるシン・オートコール〜AI駆動開発でつくる思いと実装をつなぐ手法〜」、講師:NTT東日本株式会社、株式会社NTT DXパートナー、合同会社TAKUMINASUN 鈴木巧氏
- 11月 18日 秋田北ロータリークラブ会員による視察
- 11月 26日 理工学デザイン(11月28日まで)
- 11月 27日 人間情報工学コース 令和7年度修士論文中間発表会(11月28日まで)
- 12月 2日 先進ヘルスケア工学院 機器ディベートII(博士前期課程1年次中間発表)
- 12月 3日 医理工イブニングサロン(講師:中島佐和子准教授)
- 12月 8日 就職活動・進路選択に関する体験報告(超スマート社会におけるキャリアデザイン〈第4回〉)、講演者:理工学部数理・電気電子情報学専攻人間情報工学コース4年次 戸賀瀬蓮氏、柴田結氏、大学院理工学研究科数理・電気電子情報学専攻人間情報工学コース博士前期課程2年次 林恭平氏、山下茜音氏
- 12月 12日 秋田県立大曲高等学校 出前講義(担当:水戸部一孝教授)
- 12月 15日 情報処理学会東北支部講演会(超スマート社会におけるキャリアデザイン〈第5回〉)、「超スマート時代のキャリアデザイン〜社会に貢献するために何をするか〜」、講師:パナソニックインフォメーションシステムズ株式会社 横須賀武士氏
- 12月 18日 大学院理工学研究科博士前期課程/博士後期課程入試(第2次学生募集)
- 12月 22日 秋田県立湯沢高等学校 DXハイスクール講義(担当:水戸部一孝教授)

2026 令和8年

- 1月 8日 第3回情報データ科学部教育研究カOUNシル(メール審議)(1月16日まで)
- 1月 14日 卒業生による進路に関する講演会(超スマート社会におけるキャリアデザイン〈第6回〉)、講演者:TOPPANデジタル株式会社 高秀千冬氏、トヨタ自動車東日本株式会社 永石明日斗氏、東日本旅客鉄道株式会社 榎本愛氏
- 1月 17日 大学入学共通テスト(1月18日まで)
- 1月 21日 マイナビによる「就活直前確認セミナー」(担当:石沢千佳子教授)
- 1月 23日 総合型選抜II、私費外国人留学生入試
- 1月 27日 先進ヘルスケア工学院 令和7年度修士論文発表会(1月29日まで)
- 2月 3日 人間情報工学コース 令和7年度修士論文発表会(2月4日まで)
- 2月 5日 人間情報工学コース 令和7年度卒業課題研究発表会(2月6日まで)
- 2月 5日 令和7年度博士論文審査会・公聴会(発表者:菊地亮太氏)
- 2月 9日 3年次個人面談3回目(担当:中島佐和子准教授、石沢千佳子教授)(2月20日まで)
- 2月 10日 リクルートによる「インターンシップセミナー」(担当:石沢千佳子教授)
- 2月 25日 一般選抜(前期日程)
- 3月 12日 一般選抜(後期日程)
- 3月 22日 学位記授与式

## 受賞・表彰 (学生)

※受賞時の学年・所属

### 学会賞受賞

- 2025年 4月 令和6年度電気学会東北支部優秀論文賞(支部長賞)  
鴨澤 秀郁(数理・電気電子情報学領域博士後期課程3年、田中研究室)
- 2025年 4月 電気学会優秀論文発表賞  
山室 柊太(先進ヘルスケア工学院修士課程2年、水戸部・藤原研究室)
- 2025年 9月 第24回日本VR医学会学術大会 最優秀賞  
小川 優花(先進ヘルスケア工学院修士課程1年、水戸部・藤原研究室)
- 2025年 9月 ICISIP2025 Best Student Paper Award  
大石 稜(人間情報工学コース博士前期課程2年、景山・石沢研究室)
- 2025年 9月 産業応用工学学会全国大会2025 優秀論文発表賞  
大石 稜(人間情報工学コース博士前期課程2年、景山・石沢研究室)
- 2025年 9月 産業応用工学学会全国大会2025 学生賞  
山下 茜音(人間情報工学コース博士前期課程2年、景山・石沢研究室)
- 2025年 10月 ICMR2025 AKITA Excellent Poster Award  
林 恭平(先進ヘルスケア工学院修士課程2年、水戸部・藤原研究室)
- 2025年 10月 ICMR2025 AKITA Excellent Poster Award  
山田 大晟(先進ヘルスケア工学院修士課程2年、田中研究室)
- 2026年 3月 日本知能情報ファジィ学会令和7年度東北支部研究会奨励賞  
伊東 壘(人間情報工学コース学部4年、景山・石沢研究室)  
菅野 倅聖(人間情報工学コース学部4年、景山・石沢研究室)  
辻 楓汰(人間情報工学コース学部4年、景山・石沢研究室)
- 2026年 3月 情報処理学会東北支部奨励賞  
鎌田 颯(人間情報工学コース博士前期課程2年、景山・石沢研究室)  
鈴木 健太(人間情報工学コース博士前期課程2年、景山・石沢研究室)  
須藤 悠介(人間情報工学コース博士前期課程2年、景山・石沢研究室)  
宮古 菜々(人間情報工学コース博士前期課程2年、景山・石沢研究室)  
山下 茜音(人間情報工学コース博士前期課程2年、景山・石沢研究室)

### その他の受賞

- 2025年 11月 第6回とめ研究所若手研究者懸賞論文優秀賞  
鴨澤 秀郁(数理・電気電子情報学領域博士後期課程3年、田中研究室)

### 成績優秀表彰

- 2026年 3月 2025年度北光会賞  
南雲 康誠(人間情報工学コース学部4年、水戸部・藤原研究室)  
古谷 旭(機械工学コース学部4年、長縄研究室)
- 2026年 3月 2025年度情報処理学会東北支部学生奨励賞  
佐野 広空(人間情報工学コース学部4年、景山・石沢研究室)
- 2026年 3月 2025年度日本機械学会畠山賞  
柴田 理央(機械工学コース学部4年、長縄研究室)
- 2026年 3月 2025年度空気調和・衛生工学会振興賞(学生賞)  
羽染 宗都(機械工学コース学部4年、長縄研究室)

### 人間情報工学コース プログラミングハッカソン

- 2025年 10月 最優秀賞(第1位):長谷部 旭  
優秀賞(第2位):進藤 祐紀  
優秀賞(第3位):杉崎 碧羽生

### コンテスト・プログラム受賞

- 2025年 10月 2025年度秋田大学大学院生研究交流発表会～DOWA学生支援事業～ 優秀賞  
佐々木 爽瑚(人間情報工学コース博士前期課程1年、景山・石沢研究室)
- 2026年 1月 秋田イノベーション・プログラム ASHIOTO最終発表会優秀賞  
田中 大翔(人間情報工学コース学部4年、景山・石沢研究室)

### 秋田大学 学生表彰(学術研究活動関係)

- 2026年 3月 優秀賞  
黒崎 蓮(人間情報工学コース博士前期課程2年、有川研究室)
- 2026年 3月 奨励賞  
鴨澤 秀郁(数理・電気電子情報学領域博士後期課程3年、田中研究室)
- 2026年 3月 奨励賞  
大石 稜(人間情報工学コース博士前期課程2年、景山・石沢研究室)

### 秋田大学 大学院理工学研究科 研究科長表彰

- 2026年 3月 鎌田 颯(人間情報工学コース博士前期課程2年、景山・石沢研究室)
- 2026年 3月 木内 匠(人間情報工学コース博士前期課程2年、水戸部・藤原研究室)
- 2026年 3月 須藤 悠介(人間情報工学コース博士前期課程2年、景山・石沢研究室)
- 2026年 3月 山下 茜音(人間情報工学コース博士前期課程2年、景山・石沢研究室)
- 2026年 3月 武藤 大道(人間情報工学コース博士前期課程1年、水戸部・藤原研究室)
- 2026年 3月 チャンクアン サン(人間情報工学コース博士前期課程1年、有川研究室)
- 2026年 3月 津留 威吹(人間情報工学コース博士前期課程1年、景山・石沢研究室)